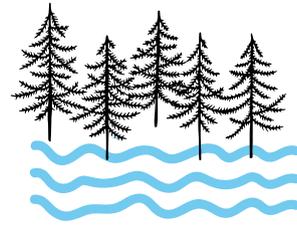


# 日本の農村を 元気にする会通信



## 北川村のみなさんはじめまして。

今年度から2年間の事業として村内で始まったスマート農業実証（北川村振興公社様からの事務委託も受けてます）と今年の7月に立ち上がった北川村地域活性化協議会（裏面）について、地域の方々にも分かりやすくお伝えすることを目的として、定期的に情報発信いたします。

この装置でゆずの苗が早く育つ！



## スマート農業実証の主な目的

- ✓ ゆずの農薬散布、収穫、選別時間の短縮
- ✓ ゆず苗木から実がなるまでの期間短縮
- ✓ 栽培技術の確立と若手への技術伝承

## 今回で紹介する取り組み

今年度北川モデルとして完成した作業効率の良い大きなほ場の1つである宗ノ上地区で、苗木の植え付けにあわせて、苗木栽培期間短縮のためのSoBiC(ソビック)システム（上の写真）を設置しています。

また、村内の事業者から提供していただいた生ゴミを効率的に堆肥化し、植物の生育を促進する効果がある内城菌の効果も調べています。

4月に苗木を植えてから、葉の数が増えたり、葉の色が濃くなるなど少しずつ生育の差が出てきていますが、この差を科学的に説明できるよう、様々なセンサーも設置して土壌の温度や水分量などのデータを集めています！

## 今後の活動予定

11月初旬頃に北川農園さんのほ場で収穫時の実証について取材対応等を受ける予定です。そのときの様子についてはまた本誌で報告します。

一般社団法人日本の農村を元気にする会は今年4月に設立した非営利法人(本社北川村)で、スマート農業実証や北川村地域活性化協議会（裏面）の活動支援を行っています。

村内でスタッフを急募（条件等は応相談）しておりますので、本会の活動に興味ある方は090-7103-5982（ノミヤマ）まで。

発行 日本の農村を元気にする会

本誌全体に対する御意見・御質問は info@nousongenki.orgまで。



# 北川村地域活性化協議会

## 『北川村地域活性化協議会ってなに？』

北川村の活性化を目的として令和2年7月に活動を開始した民間団体で

す。モデル地区である北部地区の活性化策を作成・実行し、

村内他地区への横展開に結びつける「地域部会」と

若手メンバーが中心となり村全体を活性化させるための

斬新なアイデアを村外の有識者を交えて考える

「交流部会」の2つのチームで活動しています。



地域部会サポーター  
近藤たけし



会長 田中裕也(田中商店)



副会長 上村尚幸(島地区)

## メンバー募集中！

北川村地域活性化協議会に興味がある、話を聞いてみたい方は、以下の連絡先にお問合せ下さい。田中商店で聞いてみるのもあります！年齢問いません！

まってるよ

問合せ0887-32-1223

協議会交流部会事務局(教育委員会内)担当 前田、野見山



交流部会 農村インポッシブル主催  
INSPIRE×農林水産省 谷中修吾



←公式Facebookはコチラ  
☒でも受け付けています

info@kitagawakasseika.org